

合コンの話

伊坂幸太郎（法学部）

東北大学出身の小説家といえ
ば、やはりこのひとは外せない
だろう。今回は数多い伊坂幸太
郎作品の中から、私が一番好き
な話を紹介する。新潮文庫から
出ているアンソロジーに収録さ
れている短編であり、著者の作
品としてはあまり知られていな
いかもしれない。

この『合コンの話』は、文字
通り、一夜に行われたとある合
コンの物語である。その合コン
について、開催されるに至った

経緯から参加者の男性陣・女性
陣それぞれの背景事情、当日の
合コン開催店近辺の様子に肝心
の合コンの模様、さらには合コ
ン後の世界の変化まで各パート
に分けてわかりやすくかつユー
モアをもつて教えてくれ、合コ
ンに参加したことのない読者も
なんとなく合コンがわかった気
になれるかもしれない。

この作品の魅力は、詳細な合
コン実況と一つの合コンにこれ
でもかと丹念に張り巡らされた
伏線が回収されていく爽快感に
ある。著者ならではのエンター
テイメントが合コンサイズで楽
しめる作品であり、それと同時
に、世界には平和なことがたく

さんあると思わせてくれる、微
笑ましい短編である。

また、作中には合コンの決め
ごととして「おしぼりルール」
なるものが登場する。私は合コ
ンを知らないのだが、このルー
ルは現実にもあるのだろうか。

詳しい方、ぜひご教授を。（新潮
文庫『Story Seller2』収録／
¥667／担当：灯子）

